

福島県 生涯学習基本計画

～夢まなびと創造プラン～

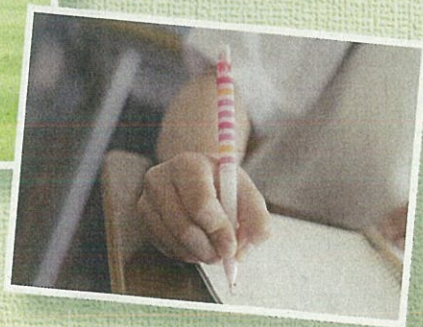
概要版

基本理念

ともに生き、ともに学び、ともに支え合う＝共生・協学

基本目標

ひろがる学び、深まるきずな、生涯学習社会ふくしま



平成 25 年 3 月

福島県

福島県生涯学習基本計画

1 計画改定の趣旨

- 東日本大震災及び原子力災害により、本県の社会経済情勢が計画当初の想定から大きく変わったことから、県総合計画の見直しに合わせ、学びの力による地域の復興を目指して見直しました。

2 計画の性格

- 福島県総合計画の部門別計画
福島県総合計画の部門別計画として、本県の生涯学習を推進するための施策等について定めたものです。

3 計画の期間

- 8年間（平成25年度～平成32年度）

将来の本県の生涯学習社会

生涯学習を通じた人づくりや地域づくりを推進することにより、県民に様々な知識や経験等が蓄積され、自分に自信を持ち、地域に誇りを持って、生きがいや潤いのある生活に満ち溢れています。地域では、そのような県民が集い、NPOなどの地域活動団体、企業等多様な主体が連携し、地域の課題に積極的に取り組み、県民同士の結び付きが強固となり、活気や力がみなぎっています。

そこでは、生涯学習の理念が浸透し、県民自らが気づき、学び、きずなを深め、そして学んだ成果を生かすことが自然に行われています。



●基本理念

「ともに生き、ともに学び、ともに支え合う＝共生・協学」

●基本目標

ひろがる学び、深まるきずな、生涯学習社会ふくしま

本県には、広大な県土に多様で豊かな自然、文化や風土等、数多くの学習資源が存在していますが、震災によって、これらの学習資源の活用が困難となっています。学びの力によって震災の影響を乗り越え、豊かな学習資源を活用することで、県民一人ひとりが、生きる力を備え、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において希望する分野で学習することができ、その成果を生かして、地域のきずなをより深めることのできる社会を目指します。



推進施策

1 地域づくり、地域の復興につながる生涯学習の推進

- (1) 地域の課題に対応できる人材の育成
- (2) 学習成果を生かすための仕組みづくり
- (3) 地域活動への参加促進

指標 (目標年次 H32 年度)

- 住民や NPO などによる地域活動に積極的に参加していると回答した県民の割合 (15.2%→**上昇をめざす**)
- NPO 法人認証件数 (累計 631 件→**累計 1,055 件以上**)

2 社会の変化に対応できる「生きる力」の形成

- (1) 学校・家庭・地域が一体となった子どもたちをはぐくむ取組の推進
- (2) 社会的自立を支援する学習活動の充実
- (3) 職業能力の向上と就労支援の推進

指標 (目標年次 H32 年度)

- インターンシップ実施校の割合 (県立高等学校全日制・定時制課程) (63.2%→**80.0%**)
- 地域伝統芸能交流会参加児童生徒数 (H24 年度 40 人→**延べ 360 人以上**)

3 生涯学習における学習活動の評価と活用機会の確保

- (1) 学習成果の職業キャリア形成への活用の推進
- (2) 学習成果の発表と活用の場の提供
- (3) 表彰制度等の創設

指標 (目標年次 H32 年度)

- 生涯学習指導者登録数 (757 人→**850 人以上**)
- 福島県芸術祭参加行事数 (47 行事→**87 行事以上**)



4 学びやすい環境づくりの推進

- (1) 生涯学習の普及啓発
- (2) 学習機会の提供
- (3) 学習情報の提供
- (4) 関係機関等の連携・強化

指標 (目標年次 H32 年度)

- 県民カレッジ受講者数 (54,532 人→**65,000 人**)
- 「夢まなびと」アクセス数 (107,158 件→**134,000 件**)
- アグアマリンふくしま入場者数 (258,244 人→**900,000 人**)

5 調査・研究及び人材育成等

- (1) 調査・研究
- (2) 人材育成
- (3) 東日本大震災等の体験、記憶、記録、教訓の継承

●実現に向けて

視点1 学びを「いかす」

～ 学んだ成果の地域への還元による社会参加促進、地域の復興等

視点2 学びを「ひろげる」

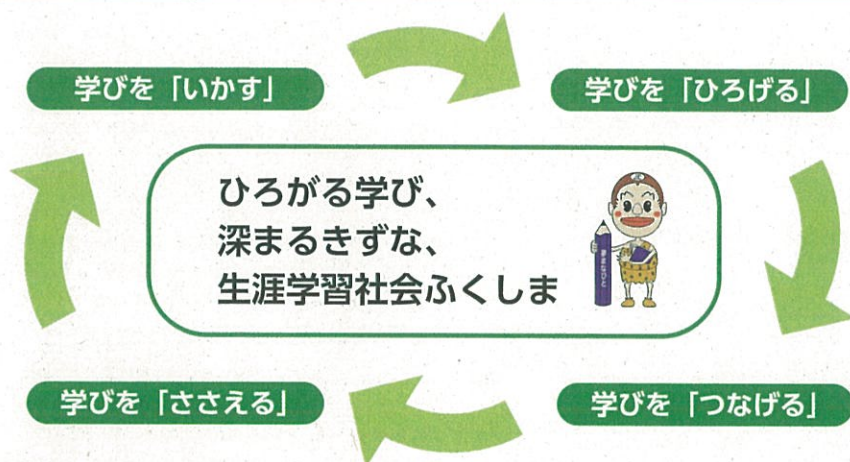
～ 多様化、高度化する課題についての学習機会の提供と環境整備

視点3 学びを「つなげる」

～ 関係機関の連携・協力による知識や資源などの効果的活用

視点4 学びを「ささえる」

～ 学び続けることができる生涯学習のための基盤整備



計画の推進と進行管理

1 計画の推進

これからの生涯学習は、県民が主体となって取り組むことが大切であり、行政は主導的な役割を担うのではなく、県民の自立と参画を支援していくことが求められています。また、学習機会の提供に当たっては、多様化・高度化する県民の学習ニーズに応える環境の整備・充実に一層努めていくことが必要です。

この計画を推進し、社会情勢の変化や地域の復興など、課題に対応した県民の主体的な学習活動を促進するためには、県民、県、市町村、大学等高等教育機関、民間それぞれが、必要な役割を担うことが期待されます。

2 計画の進行管理

この計画を推進するため、施策の実施状況を把握し、適切な進行管理を行います。

お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局生涯学習課

TEL 024-521-7784

E-mail shougaigakushuu@pref.fukushima.lg.jp

詳しくはホームページをご覧ください。

福島県生涯学習基本計画

検索



「マナビィ」
文部科学省の生涯学習のイメージキャラクターです。「学ぶ」とミツバチの「Bee」を合わせ「マナビィ」と名づけられました。



「まなんでるたーる」
福島県の生涯学習のキャラクター。新しい学びを創世する意味を込めてネアンデルタール人をもじって命名しました。